

反転授業の教学運用



反転授業とは

- 反転授業 (Flipped Classroom) とは、授業と宿題の役割を反転させる授業形態のことを指す。



Photo is from google

反転授業のきっかけ



- 2004年、カーン・アカデミー (Khan Academy)
- 2007年、アメリカにおける高校 (Woodland Park High School) で化学教師の二人 (Jonathan Bergmann/Aaron Sams)
- 2013年、数千を超える教材ビデオを制作し、YouTube EDUやiTunes U上で公開している。

準備について①

- 「この人を知っていますか？」というテーマを選択し、クラスでこのテーマについて討論できるという学習目標を設定した。
- 教学用のパワーポイントを修正する。質問を入れ、伝えたい内容や写真を選択したり用意した。
- テーマについて映像を作る。学習シートの欄も同じくデザインする。

準備について②

- 映像をQRコードに変更する。
- 具体的に授業で何をどのように質問、討論することを念頭に置き、学習目標を測る学習シート、教案とルーブリックを作った。

時間	教師の働きかけ	生徒の学習活動	備考
3分	学習シートにおける答えを確認		・この4人の名前は？ ・特徴？職業？
(導入) 10分	どうしてこの4人を選びますか？という質問からスタートする	・一番印象に残ること？ ・日本への影響？ ・あなたへの影響？ ・どんな発見？	学習シート
(展開) 30分	パワーポイントを見ながら、「この人を知っていますか？」について紹介する質問しながら討論する	・どんなことに気付いたか？ ・どんなことに関心を持ったのか？ ・各目の人物の比較	パワーポイント
(まとめ) 5分	先ほど紹介した内容をもう一度復習する	・学習シートの右欄に(授業の発見)を完成させる意識。学習シートを回収して討論する	学習シート
1分		今日は「この人を知っていますか？」について勉強した	
1分	次回予告		

手順について①

- 「この人を知っていますか？」という今回のテーマを生徒に報告し、QRコードとパソコンの使い方を教える。
- 今回の学習目標、学習シートとルーブリックについての評価方法などを明確に生徒に伝える。

手順について②

- 学習記録ノートを配り、生徒は4人1グループになってスマートフォンやパソコンを使い、家庭で用意された映像を見てから自分で答えを探し、学習シートにおける左側の欄(自分の発見)を完成する。

手順について③

- QRコード



- <https://drive.google.com/open?id=0Bwq7ndvPj1VjRG1ubTU4WEhERFE>

- PhotoPeach - Fresh slideshows to go! <http://photopeach.com/>

日文学習單

日期: _____ 班级: _____ 姓名: _____ 座號: _____

題號	你的發現	課定發現
1	答案是: _____	
2	答案是: _____	
3	答案是: _____	
4	答案是: _____	

10

手順について④

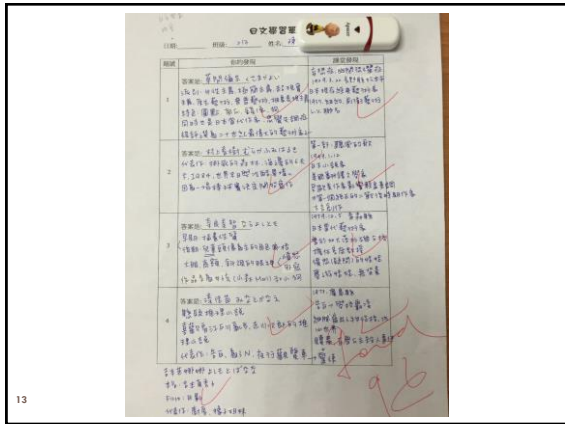
- 翌週、パワーポイントを利用しながら実際の授業を行い、お互いに討論し、学習シートにおける右側の欄(授業での発見)を完成する。

日文學習單

日期: _____ 班级: _____ 姓名: _____ 座號: _____

題號	你的發現	課定發現
1	答案是: _____	
2	答案是: _____	
3	答案是: _____	
4	答案是: _____	

12



レベル	目標以上を達成 (10)	目標を達成 (7)	目標達成までもう少し努力が必要 (4)	目標達成まで多くの努力が必要 (1)
要素	目標文化に対して、関心や問題意識をもつ。複数の視点から捉え、気づきと発見の機会を奪うことができる。	目標文化に対して、関心や問題意識をもつ。複数の視点から捉えようとしている。	目標文化に対して、関心や問題意識をもつことができる。	目標文化に対して、関心や問題意識をもつことができる。
観察・比較・討論する	目標文化と自文化の比較を中心とし、目標文化と自文化以外の文化との比較を多角的に行うことができる。	目標文化と自文化の比較を中心とし、目標文化と自文化以外の文化との比較をしながら、相違点や共通性を発見することができる。	目標文化と自文化の比較を中心とし、目標文化と自文化以外の文化との比較を行うことができる。	目標文化と自文化の比較を中心とし、目標文化と自文化以外の文化との比較を行うことができる。
インプット・アウトプットを兼ねる内容	目標文化についてインプット・アウトプットを兼ねることができる。	目標文化についてインプット・アウトプットを兼ねることができる。	目標文化についてインプット・アウトプットを兼ねることができる。	目標文化についてインプット・アウトプットを兼ねることができる。
総合点	100			
コメント				

国際文化フォーラム (2012) 『外国語学習のめやす 2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの視点』 pp.94-95

手順について⑤

- 最後に、今回の授業の内容、評価方法について検討する。
- 評価方法：1. 学習シート
2. ルーブリック
3. 観察記録

まとめ①

- 生徒が書いた学習シートの内容によると、予習の学習効率を上げることができる可能性が高められるメリットがある。
- 予習した生徒が予備知識を持っているため、教師は導入する時間を短縮することができ、すぐお互いに深く会話ができる。

まとめ①

- 例えば

昔(予習なし)	今(予習した)
雑祭りは鯉のぼりをあげるのではないですか。	日本では「男尊女卑」という考え方を持っているのかもしれませんが、女の子のために「雑祭り」があつて不思議です。
奈良美智は女の子じゃないですか。	奈良美智が書いた女の子は不満で孤独だと感じられ、これはバブル経済と関係があるの？

まとめ②

19

- 生徒の学習時間と思考時間を増加させることができるメリットがある。
- 授業時間外に生徒自分で内容を探し、どのような必要な情報を選ぶことを自身で考え、また小グループで討論した知識や疑問などを授業で教師ともう一度確認することができる。これにより、毎回のテーマについてしっかりと理解できる。

まとめ③

20

- 教室の観察とループリックによると、生徒がネットで学んだ知識について批判的な思考ができるメリットがある。
- 例えば、「草間彌生の作品を見てから、すごく汗が出てイライラしている。皆はそういう感じなかった？そういう不愉快な作品にどうしてファンがたくさんいるの？」という質問もあった。

まとめ④

21

- 個人より小グループのほうが効果が出やすい。
- どんなテーマでも宿題をしない、映像を見ない生徒はいる。しかし、小グループの場合はいいい評価を取るためお互いに注意し、協同学習の力で映像と学習シートの完成度が高くなる。

まとめ⑤

22

- 学習シートを上手に書いた生徒は討論が上手だとは限らない。それどころか、うまくディスカッションできる生徒が書いた学習シートは内容が悪いかもれない。
- 評価する時に二つの点数を分けてつけた方がよい。そうすることにより、生徒がこれからどこを改善すべきかすぐ分かるようにする。そして、状況に応じて達成度が相対的に低い生徒に対し追加的に学習支援を行うなどの工夫が必要である。

まとめ⑥

23

- 毎回必ず反転授業を行うと、生徒は飽きやすくなって学習効果もだんだん下がる。
- 教師にとっては準備時間や学習シートの確認などに時間がかかり負担になる。
- クラスによって教学進度も把握しにくい。
- 一か月或いは二か月に一回テーマを中心とした授業内容の場合は反転授業を使うことを薦める。

まとめ⑦

24

- 教育現場で反転授業を導入することには多くのメリットもある反面、さまざまな課題や留意点も存在する。しかも、時代が変化続けることによって問題点も変わると思われる。
- 注目されている反転授業を通し、生徒も教師も多角的な角度から討論することができ、生活で教育実践の試みだと言えらる。
- 本当の教育は個別の生徒のみではなく、みんなで一緒に学ぶことであり、これから反転授業の成果に期待している。

25	ご清聴ありがとうございました。